

県土木部営繕課は平成6年度の営繕事業概要をまとめ発表した。新年度の受託工事は合わせて工事は二百六十四件、二百五十六億六千三百五十二万円、設計及び調査委託が八十八件、八億八千七百六十万円で件数は昨年度当初を三十三件下回ったものの工事費は五十七億円の増。

新年度は「21正規の新しい生活圈へ美しいふくしまーの創造」を実現を目指し、「魅活圈の実現」を念頭に、使いやすくて安全で快適な施設整備に取り組み良好な環境・景

力ある公共建築の創造を通じて

6年度は264件に 県営繕工事の概要

県土木部営繕課は平成6年度の営繕事業概要をまとめ発表した。新年度の受託工事は合わせて工事は二百六十四件、二百五十六億六千三百五十二万円、設計及び調査委託が八十八件、八億八千七百六十万円で件数は昨年度当初を三十三件下回ったものの工事費は五十七億円の増。

新年度は「21正規の新しい生活圈へ美しいふくしまーの創造」と「活力ある地方生

活圈の実現」を念頭に、使いやすくて安全で快適な施設整備に取り組み良好な環境・景

(面積の単位は平方メートル)

技術者3人の準備進む

5月6日に福島市で

技術者3人の準備進む

技術者自ら、工事施工に関する体験を発表することによって、より実際的な施工技

術の向上と資質の向上を図るうと開催している本協会の行事のひとつ「工事施工体験発表会」も今回で九回目。毎年電気設備工事にかかる様々なテーマで発表が行

資質向上を目指す

河川整備基金へ寄付

勲五等受章の坂本氏

福島市に陳情

設備部門の強化を

本協会第三代会長を務めた

坂本博太郎氏(常盤電設産業

会長)が四月五日、県庁を訪

れ河川整備基金県地方募金委

員会顧問である江花亮土木部

長に七十万円を手渡した。

これは、坂本氏が昨年秋の

叙勲で勲五等瑞宝章を授章し

たことを記念して行われたもので、募金を受けた江花部長

は「叙勲の記念式典にかえて

の募金という行為に感謝しま

す」と述べた。

河川整備に有効に活用し

ます」と述べた。

河川整備に有効に活用し</



福島空港の開港一周年行事

撮影：新野福島空港メンテナンス社長

福島空港が開港して早いもので丸一年を迎える。3月30日にはその福島空港で開港一周年記念事業「エアポート・フェスティバル」が盛大に行われた。本協会郡山支部会員が中心となって設立した(株)福島空港メンテナンスもこの日で丸一年。業界主導型のメンテナンス業務を慎重に進め、無事に開港式典を迎えることができた。

福島空港の開港一周年行事は、①空港シンポジウム(愛知県わかじやち国体のマ

福島空港が開港して早いもので丸一年を迎えた福島空港へ三千mの実現めざす
福島空港
三千mの実現めざす

福島空港が開港して早いもので丸一年を迎える。3月30日にはその福島空港で開港一周年記念事業「エアポート・フェスティバル」が盛大に行われた。本協会郡山支部会員が中心となって設立した(株)福島空港メンテナンスもこの日で丸一年。業界主導型のメンテナンス業務を慎重に進め、無事に開港式典を迎えることができた。

福島空港の開港一周年行事は、①空港シンポジウム(愛知県わかじやち国体のマ

福島空港が開港して早いもので丸一年を迎える。3月30日にはその福島空港で開港一周年記念事業「エアポート・フェスティバル」が盛大に行われた。本協会郡山支部会員が中心となって設立した(株)福島空港メンテナンスもこの日で丸一年。業界主導型のメンテナンス業務を慎重に進め、無事に開港式典を迎えることができた。

福島空港の開港一周年行事は、①空港シンポジウム(愛知県わかじやち国体のマ

福島空港が開港して早いもので丸一年を迎える。3月30日にはその福島空港で開港一周年記念事業「エアポート・フェスティバル」が盛大に行われた。本協会郡山支部会員が中心となって設立した(株)福島空港メンテナンスもこの日で丸一年。業界主導型のメンテナンス業務を慎重に進め、無事に開港式典を迎えることができた。

福島空港の開港一周年行事は、①空港シンポジウム(愛知県わかじやち国体のマ

